

(6) 第6学年の実践

①単元名

**Let's go to Italy. 友だちを旅行にさそおう (Hi, friends! 2 Lesson 5)**

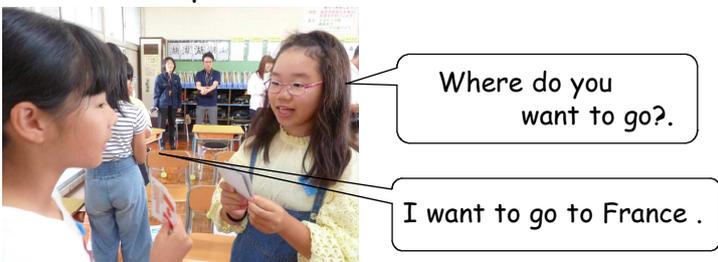
②単元の目標

- ・自分の思いがはっきり伝わるように、おすすめの国について発表したり、友達の発表を積極的に聞いたりしようとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ)
- ・世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。(言語や文化への気付き)

③仮説検証についての具体的取組

<p>仮説1-①「興味・関心を高める場面設定」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「夢の修学旅行に出かけよう」という単元のゴールを設定した。いろいろな国について調べ、パスポートを作成し、自分の行きたい国、見たいものや食べたいものを英語で伝えようというめあてを提示し、活動への意欲付けをした。</li> <li>○自分の行きたい国について先生方に伝えることができれば出国 OK というミッションを設定し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てていくようにした。</li> </ul>
<p>仮説1-②「英語に慣れ親しませるための工夫」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○テンポを変えた歌やチャンツ、パターンを変えたクイズやゲームを取り入れ、児童が飽きずに意欲的に活動できるようにし、十分に慣れ親しませるようにした。</li> <li>○児童が自信をもって発話できるように、全員で発音する、一人で、ペアで、グループでの活動の場を確保した。</li> </ul>
<p>仮説1-③「コミュニケーション活動の工夫」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニケーションのポイント (Smile Eye contact Clear Voice Rhythm Response) を心掛け、会話の中でのリアクションを意識して会話をはずませるようにした。</li> <li>○難しさを感じている児童には必要に応じた声掛けやペアでの助け合い、ヒントカードなどを活用し、安心して活動できるようにした。</li> </ul>
<p>仮説1-④「評価の工夫」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○活動の途中に中間評価を行い、対話を続けるための表現や既習表現を積極的に使っている児童を紹介したり、意欲的にコミュニケーションを図っている児童を評価することで他の児童も表現を工夫するようになった。</li> <li>○振り返りカードには、めあてについて振り返る観点を加え記述欄も設けた。</li> </ul>
<p>仮説2-②「他教科他活動との関連」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○社会科との関連を図り、世界のいろいろな国について調べたり、まとめたりした。</li> <li>○ALT や英語教育指導員のサポートで自分が本当に伝えたいことを表現できるようにした。</li> </ul>

④本時の学習 (5/5)

過程	学習活動	教師の支援・児童の様子
<p>たしかに出会う</p>	<p>1 <b>Greeting</b> あいさつをし、「学園天国」を歌う。                  2 <b>Warm up</b> チャンツ、カードゲームをする。</p>  <p>3 <b>Today's goal</b> 本時のめあてを確認する。</p> <p>行きたい国を尋ねたり答えたりして「夢の修学旅行」へ出かけよう。                  ～積極的に、相手に分かりやすく伝えよう。～</p>	<p>○あいさつを交わしたり簡単な振り付けで歌ったりして楽しく活動できる雰囲気をつくった。</p> <p>【仮説1-②】                  チャンツは、リズムやアクセントに気を付け、ペアでカードゲームを行った。繰り返し発音することで語彙や表現に慣れ親しんだ。</p> <p>【仮説1-①】                  夢の修学旅行へ出かけようという場面を設定し、行きたい国や理由を紹介したいという意欲を高めた。</p>

かんがえてやってみる

#### 4 Activity1 会話の練習をする。 気をつけたい発音やリズム、コミュニケーションのポイントを話し合う。



パペットでデモンストレーション

A : Hello. B : Hi.  
 A : Where do you want to go?  
 B : I want to go to France .  
 A : Why?  
 B : I want to eat escargots.  
 I want to see the Eiffel Tower.  
 A : Me,too. (Wow Nice)  
 B : Thank you. Let's go to France.



#### 【仮説 1-②】

デモンストレーションタイムを設定した。リズムやコミュニケーションのポイントを話し合い、自分が気を付けることを確認することで安心して活動することができた。

#### 【仮説 1-②】

全員で言う、一人で言う、ペアで言う、グループで言うなど様々なパターンでの練習の場を確保した。練習を重ねることで、児童が自信をもって話していた。

きづき

#### 5 Activity2 「夢の修学旅行」の発表をする。 A班とB班に分かれて、自分のプランを紹介する。 エアポートゲームをする。



Why?

I want to go to Canada .

Nice.



よく分かるように伝えているな。笑顔がいいね。



#### 【仮説 1-③】

コミュニケーションのポイントを心掛け、会話をはずませるようにした。苦手意識を持つ児童には声掛けや児童同士の助け合いを行い、不安なく楽しく活動する姿が見られた。

#### 【仮説 2-②】

世界の国々を知る社会科の学習との関連を図り、テキストに掲載されていない国を紹介した児童も多く、本当に行きたい国を伝えた。

#### 【仮説 1-④】

中間評価を行い、相手をよく見てはっきり話している児童やリアクションを意識している児童を紹介し、よりよいコミュニケーションの在り方に気付くことができた。

親しみ伝え合う

#### 6 Look back 振り返りシートを書き発表する。



～さんが、分かりやすく話し、リアクションをしていたのがいいと思いました。

ポイントを守って伝えることができました。先生にほめられてうれしかったです。

○自分の頑張りや友達のがよかったところを振り返らせる。

#### 【仮説 1-④】

本当に分かってもらえているのかを汲み取り、工夫して伝えようとしている姿が見られた。最後に先生方のOKがもらえたら出国の手続きができるというミッションをクリアし、達成感一杯の表情だった。

これまでを振り返る

#### 7 Ending あいさつをする。